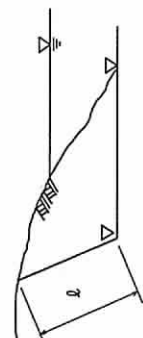
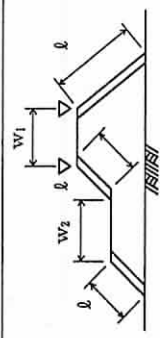
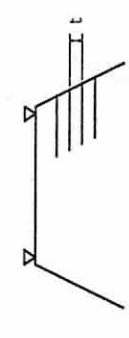


出来形管理基準及び規格値

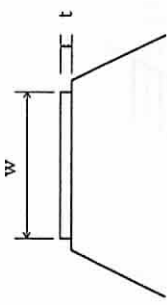
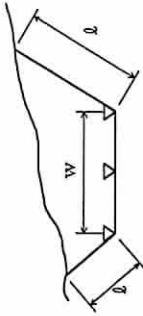
単位：mm

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値
1 共通編	2 土工	3 土工	2		掘削工	基準高 $\nabla$	$\pm 50$
						法長 $l$	$-200$
						法勾配	法長 $-4\%$ $-0.5$ 分
1 共通編	2 土工	3 土工	3		盛土工	基準高 $\nabla$	$-50$
						法長 $l$	$-100$
						幅 $w_1, w_2$ 法勾配	法長 $-2\%$ $-100$ $-0.5$ 分
1 共通編	2 土工	3 土工	4		盛土補強工 (補強土(テールアルメ)壁工法) (多数アンカー式補強土工法) (ジオテキスタイルを用いた補強土工法)	基準高 $\nabla$	$-50$
						厚さ $t$	$-50$
						控え長さ	設計値以上

測定基準	測定箇所	摘要
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合 は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所 につき 2 箇所。 基準高は掘削部の両端で測定。</p>		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合 は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所 につき 2 箇所。 基準高は各法肩で測定。</p>		
<p>施工延長 40m (測点間隔 25mの場合 は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所 につき 2 箇所。</p>		

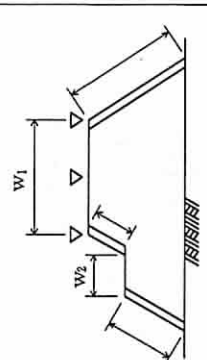
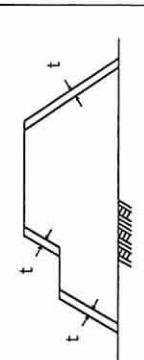
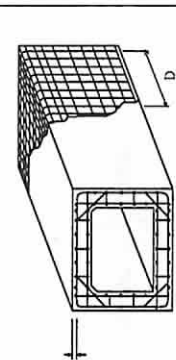
単位：mm

編	章	節	条	枝番	工	種	測定項目	規格値	
1 共通編	2 土工				路面工		厚さ t	-25	
							t < 15cm		
							t ≥ 15cm	-50	
						幅 w	-100		
1 共通編	2 土工	4 林道土工	2		掘削工		基準高 ▽	±50	
							法長 ℓ	ℓ < 5m	-200
								ℓ ≥ 5m	法長-4%
							幅 w	-100	
							法勾配	-0.5分	

測定基準	測定箇所	概要
<p>幅は、施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 厚さは、施工延長 200m につき 1 箇所、200m 以下は 2 箇所、中央及び端部で測定。</p>		
<p>施工延長 40m につき 1 箇所、延長 40m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 箇所。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。</p>		

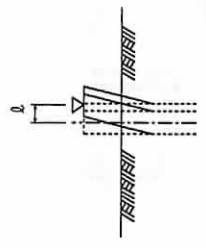
単位：mm

編	章	節	条	枝番	工	種	測定項目	規格値	
1 共通編	2 土工	4 林道土工	3 4		路体盛土工 路床盛土工		基準高 ▽	±50	
							法長 ℓ	ℓ < 5m	-100
								ℓ ≥ 5m	法長-2%
						幅 w <sub>1</sub> , w <sub>2</sub>	-100		
1 共通編	2 土工	4 林道土工	5		法面整形工 (盛土部)		厚 さ t	※-30	
1 共通編	3 無筋、鉄筋コンクリート	6 鉄筋	4		鉄筋の組立て		平均間隔 d	±φ	
							かぶり i	±φかつ 最小かぶり 以内	

測定基準	測定箇所	摘要
施工延長 40mにつき 1箇所、延長 40m以下のものは 1 施工箇所につき 2箇所。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。		
施工延長 40mにつき 1箇所、延長 40m以下のものは 1 施工箇所につき 2箇所。法の中央で測定。 ※土羽打ちのある場合に適用。		
$d = \frac{D}{n-1}$ D : n本間の長さ n : 10本程度とする φ : 鉄筋径		工事の規模に応じて、1リフト、1ロット当たりに対して各面で一箇所以上測定する。最小かぶりは、コンクリート標準示方書 (設計編 13.2) 参照。ただし、道路橋示方書の適用を受ける橋については、道路橋示方書 (Ⅲコンクリート編 6.6) による。 注1) 重要構造物かつ主鉄筋について適用する 注2) 橋梁コンクリート床版桁 (PC橋含む) の鉄筋については、第5編 4-7-2床版工を適用する。 注3) 新設のコンクリート構造物 (橋梁上・下部工及び重要構造物である内空断面積 25 m <sup>3</sup> 以上のボックスガート (工場製作のプレキャスト製品は全ての工種において対象外)) の鉄筋の配筋状況及びかぶりについては、「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領 (案)」も併せて適用する。

単位：mm

編	章	節	枝番	工種	測定項目	規格値
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	4	矢板工(指定仮設・任意仮設は除く) (鋼矢板) (軽量鋼矢板) (コンクリート矢板) (広幅鋼矢板) (可とう鋼矢板)	基準高▽	±50
					根入長	設計値以上
					変位 $\phi$	100
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	5	縁石工 (縁石・アスカープ)	延長 L	-200
					設置高さ H	設計値以上
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工種	6	小型標識工		

測定基準	測定箇所	摘要
基準高は施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1 箇所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 箇所につき 2 箇所。 変位は、施工延長 20m (測点間隔 25m の場合は 25m) につき 1 箇所、延長 20m (又は 25m) 以下のものは 1 箇所につき 2 箇所。		
1 箇所 / 1 施工箇所		
1 箇所 / 1 基	